

「里海創生」概念を反映した 震災復興への提案

(財)ひょうご環境創造協会 顧問
小林 悦夫

甚大な漁業被害

2011/7月現在

- 東日本大震災による大津波で壊滅的打撃を受けた各道府県の水産業の被害状況が12,284億円に達した。
- 漁港319カ所8,151億円の被害、漁船21,519隻が損壊、1,604億円の被害、養殖施設737億円、養殖物575億円、共同利用施設1,571施設、1,217億円の被害を受けたため、復興まで10年以上が見込まれる。
- 三陸沿岸は、ギンダイ、マダラ、ギンサケ、ワカメの水揚げが国内生産の約9割を占め、サバやカツオ、サンマ、カキも2～3割を占める。宮城県漁協によると、県内には震災前、約1万3500隻の漁船があったが、震災後に港に残ったのはわずか約2500隻。ノリやワカメなどの養殖いかだはほぼ全滅。
- さらに、津波で引き込まれた大量のがれきが海中の広範囲にわたって沈んでおり、生き残った漁船も、危険なため航行すらできない状態が続いているという。

力強い復興

- 東日本大震災による津波で、被災地の漁業や養殖業に大きな被害が出ている中、カキの稚貝の養殖が盛んな宮城県石巻市の万石浦(まんごくうら)で、稚貝の1割が被害を受けずに残っていることが分かった。年内にも全国のカキ養殖産地に稚貝の出荷が再開できる可能性があるという。今後の見通しは依然として厳しいが、各地で復興への“息吹”が芽生え始めている。
サンケイニュース
- 東日本大震災からの牡蠣復興支援プロジェクトなど、漁業被害に対する震災復興は、行政支援以外にも民間により自主的復興が力強く進んでいる。



- 第2回有明海再生講演会が25日、日田市三本松のパトリア日田であり、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた宮城県気仙沼市のカキ養殖漁師、畠山重篤さん(67)が「東北沿岸漁業再興と『森は海の恋人』－海を恨む気持ちはない－」と題して講演した。
- 畠山さんは、漁民による植樹活動を続けている「牡蠣(かき)の森を慕う会」代表。震災で93歳の母を亡くし、養殖施設も全滅した。しかし、再起を誓い、今月5日、気仙沼市を流れる川の源流域(岩手県)で、23回目となる「森は海の恋人植樹祭」を実施した。

- 講演で畠山さんは、被災地の様子などに触れ、今回の震災について「日本は地震を覚悟しなければならない国。沿岸部の生活を考え直す意味で、歴史の転換点になった」と指摘した。
- また、森林の腐葉土から栄養が海に流れ込み、プランクトンが繁殖、海水と淡水が交じる汽水域でカキなどが育つことを説明した。畠山さんは「山に木を植えることも大事だが、川の流域に住む人の心にも木を植えなければならない。海のことを意識してもらうことが重要」などと訴えた。



里海活動を通しての提案

- (1) 民間参入を促す「水産業特区」の提案に対する
問題提起
- (2) カキ養殖等に係る多栄養段階生物同時養殖への
提案



民間参入を促す「水産業特区」の提案に対する問題提起

- 漁業の復興で、宮城県では、村井嘉浩知事が、民間参入を促す「水産業特区」を提案。
- これに対し、地元の漁協は猛反発している。
- 日本の漁業の競争力強化策として全国のモデルケースにもなる可能性を秘める一方で、漁業者には「漁場を荒らされる」との警戒が強い。政府が漁業復興のビジョンを明確に示していないことも混乱に拍車をかけている。



- 漁業権は漁場管理を伴うものなので、民間への開放は反対。
- 海をよく知らない企業が漁場を適切に管理しつつ海で利益を得ることは非常に困難。
- かわりに漁協が主体となった漁業権の民間への開放を提案。この場合、漁場管理の主体としての漁協の役割は残る。
- 京都府の網野町で、このような取り組みが行われつつある。



漁協主体の漁業権開放

素潜り漁
1日2,500円
1人

徒手採捕漁
1日500円
1人

素潜り漁体験 「1日漁師証」

琴引浜中央、「太鼓浜・大岩」周辺で採捕漁業体験が出来ます。

漁場開放時間 午前9時～午後4時

採捕する動植物の種類・数量の制限はありません

※あわび殻長10cm・さざえ蓋径2cm未満の個体は資源保護のため採捕出来ません。



鑑札発券所にて当日お買い求めください。

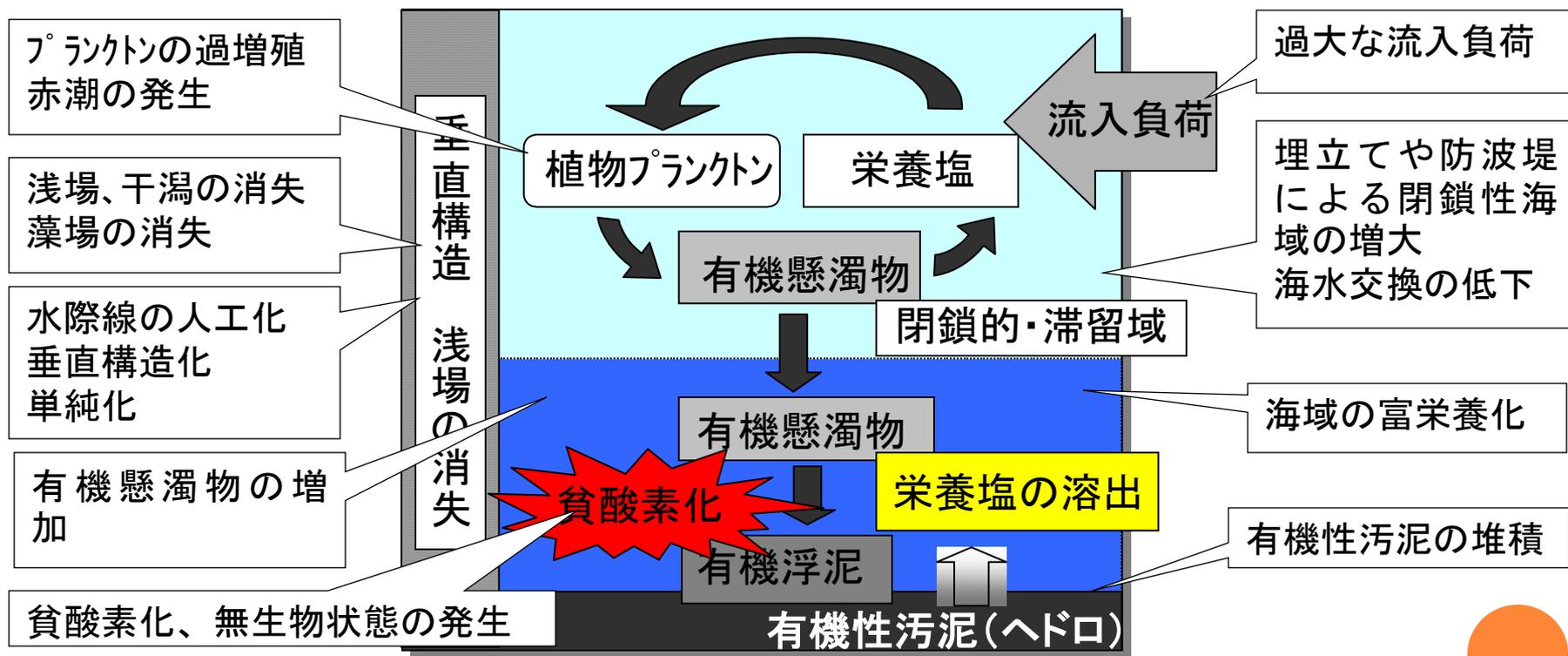
注意事項 ●鑑札は手首に装着してください。(一度切り離すと再装着できません) ●海に親しんで頂くため漁場を開放するものであり、開放内での「大漁」を担保するものではありません。また、入漁中の安全確保は個人の責任とし鑑札発行者が怪我や生命維持を担保するものではありません。危険を十分理解され、ライフジャケットや保険加入など必要であれば個人の責任に於いて対処してください。●発射機能を持つヤス等は利きません。スキューバダイビング等による潜水漁はできません。●開放区域外での入漁行為は密漁として関係省庁に報告いたします。●天候や情により、解放を制限したり取りやめることがあります。●マナーを守り、安全に体験してください。(ゴミの散乱防止、漁場の破壊行為の禁止)

参加型海業推進事業 網野町漁協 遊浦

あなたも
**一日限定で
漁師になっちゃ
みませんか!**

カキ養殖等に係る 多栄養段階生物同時養殖への提案

20世紀の大量生産・大量消費生活に起因する物質循環の「歪み」「負の遺産」が閉鎖性海域に蓄積



漁業の再生産

栄養物質 (N:P:Si=16:1:16)



干潟

藻場

親魚

付着珪藻

仔、稚魚

昔

再生産リサイクル

栄養物質 (N,P>Si)



直立護岸

親魚

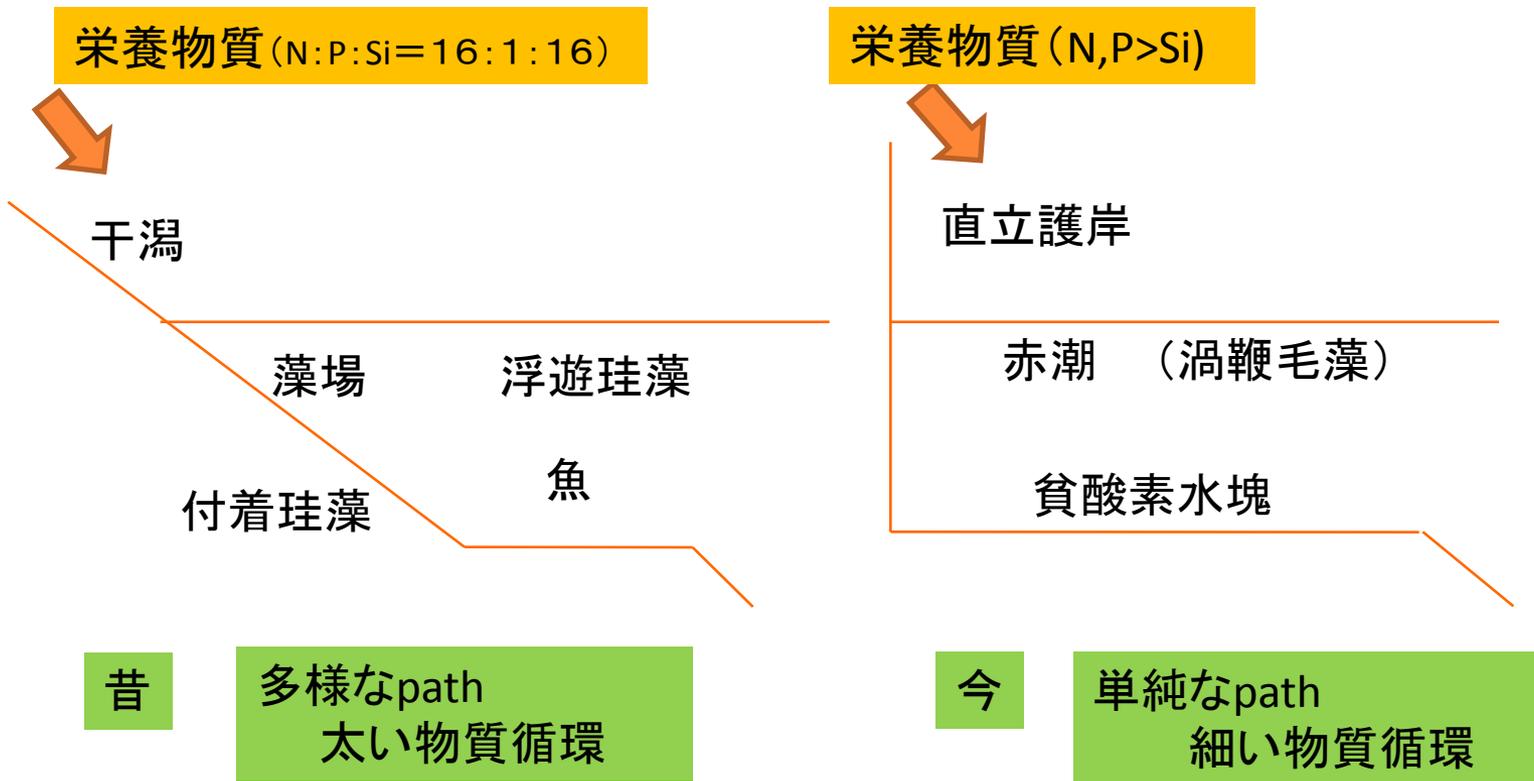
貧酸素水塊

今

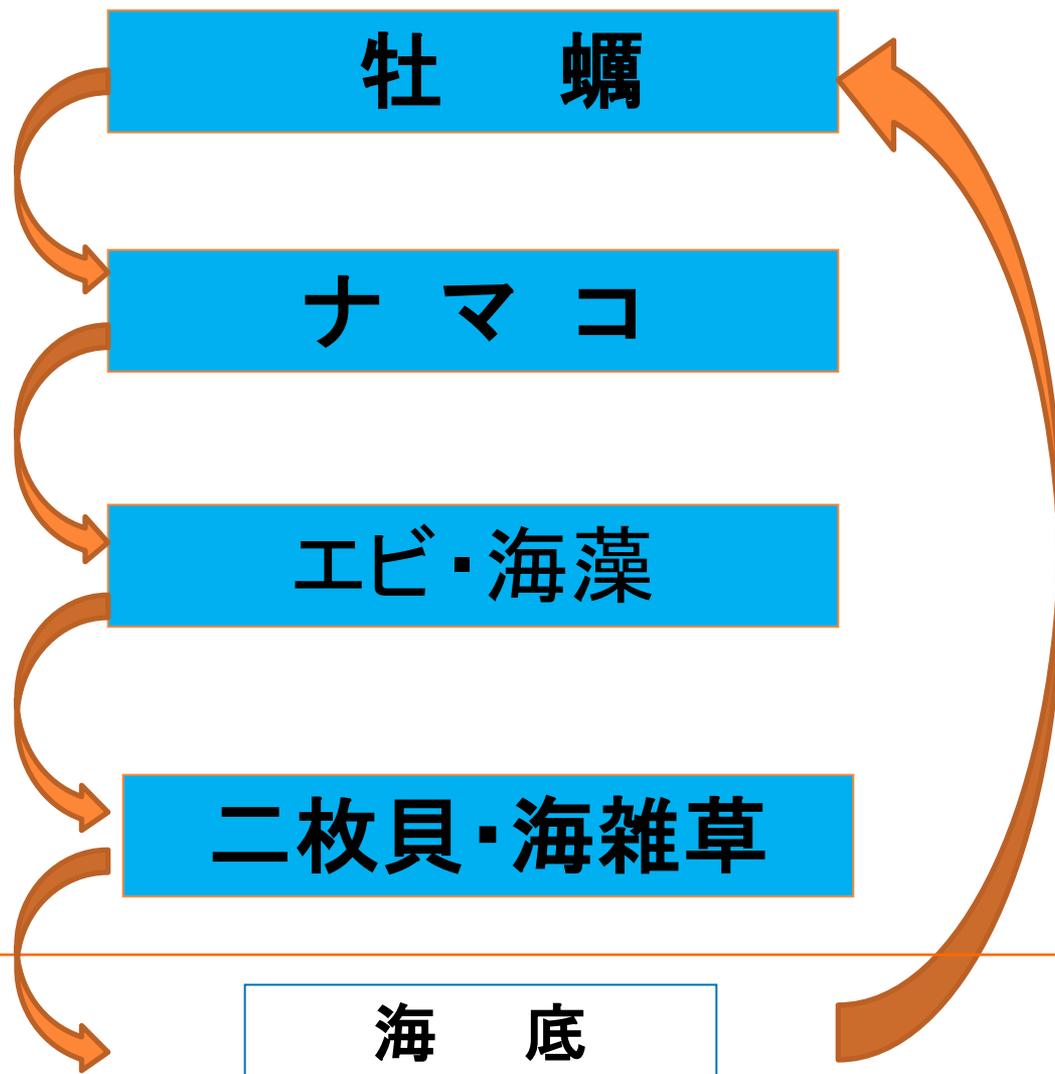
親は居るけど、
仔、稚魚が居ない



栄養物質の循環機構



多栄養段階生物同時養殖



津波防止対策

- 5m防潮堤を15m防潮堤にし、沿岸と海を隔離することは、止めて頂きたい。
- 人には、海を親しみ、大切に作る心がある。この心を大切にして頂きたい。
- 防災対策としては、沿岸の海底に、潜堤を構築し、津波のエネルギーを減ずる減災措置を行う。
- あわせて、この潜堤を漁礁としても活用し、集魚を行う。
- 埋め立て地で、今回、浸水し、また、海岸に浅海帯、干潟を構築し、波高を減じる。
- 海岸地帯、漁港地域には、1平方kmに、一か所程度で、公共施設、公営住宅を建設し、その最上階を避難用集会所とし、短時間に避難できる場所を確保する。



阪神大震災での事例紹介

- 住民主導のまちづくり
- 100年先を見通した「尼崎21世紀の森」構想



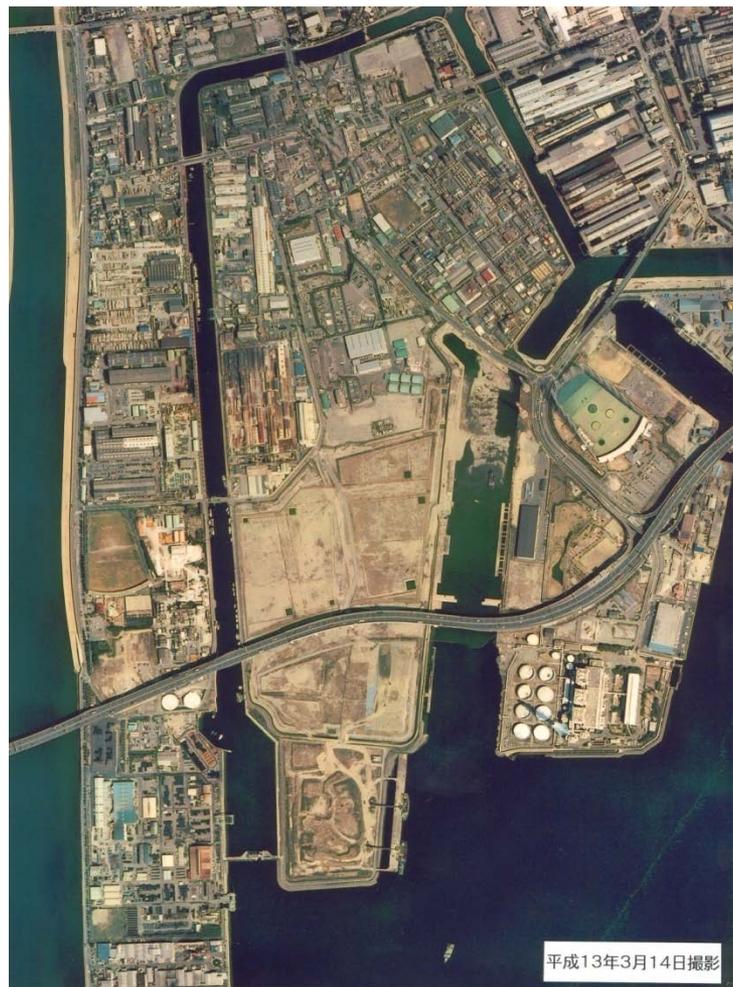
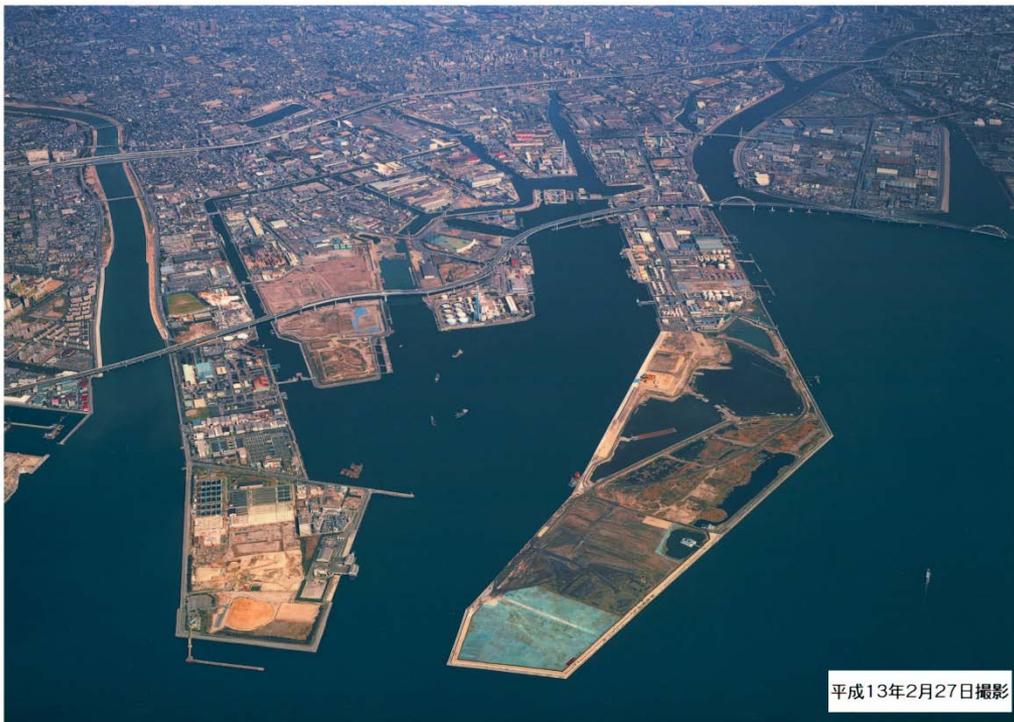
住民主導のまちづくり

- 被災を受けた市街地の街は、戦前からの町が多く、防災上、必要な道幅が確保されていなかった。
- このため、再興に当たっては、区画整理事業を行う必要があった。
- 巨大街路、経済性優先、画一的な公共事業からの脱皮を目指し、各自治会ごとに、住民主導のまちづくり協議会を設置された。
- 各種団体、ボランティア、企業の連携による生活復興県民ネットが結成され、まちづくり協議会を支援した。
- 市役所などの行政は、前面に出ず、裏方に徹し、住民の主導を尊重した。



「尼崎21世紀の森」構想

尼崎臨海部の航空写真



尼崎臨海地域再生と森の導入

自然環境からの視点

瀬戸内海的环境
改善・創造



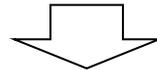
尼崎臨海地域の
環境改善・創造

文明論からの視点

瀬戸内文化の再
生



人間性回復の
舞台づくり



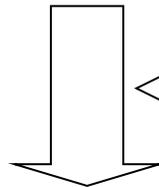
まちづくりからの視点

関西再生のための
ベイエリア再編



尼崎臨海地域の
再生

尼崎臨海地域における
豊かな環境の回復・創造を基調とした都市再生への取り組み



緑豊かな六甲山地を背景に海と網という
水辺に恵まれた環境運河

自然の回復・創造、人間性回復の舞台、都市再生のための
インフラであり、水辺と連携し環境創造の骨格をなす
森の導入



尼崎湾域における環境修復技術とその導入可能性

多様な生物の生息場の創出

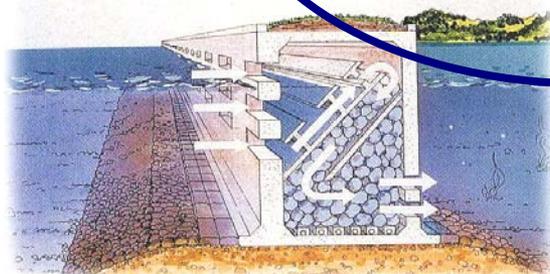


護岸構造の緩傾斜化
浅場や干潟の造成
藻場の造成



水質・底質の改善

礫間接触浄化構造の導入
ベントスを利用した底質改良
人工ラグーンの造成
浚渫・覆砂



親水性の向上

砂浜の造成
階段式護岸等親水構造の導入



尼崎 21世紀の森構想タイムスケール

